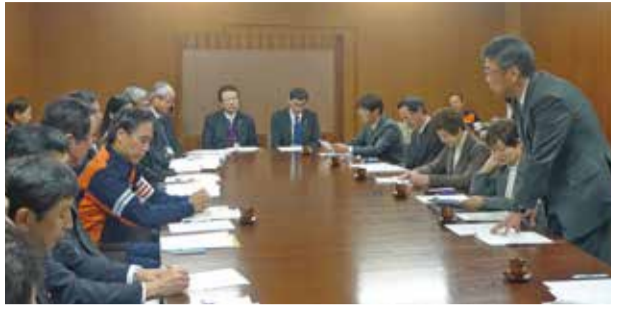


あなたの願いにこたえられるのは どの党・どの人か

県民の命と暮らし、平和にかかわる大事な選択の日が迫っています。
どの党、どの人が県民の願いにしっかりこたえられるかが問われています。



県知事に15年度予算要望する
党県委員会と県議団(14年11月)

県議を選ぶモノサシ

地元の県議が何をしているかわからない。仕事できる人でないとダメ。(60代女性)

1 県民の声を届け、仕事する人を

議員の最も大事な仕事は、県民の願いを県政に届けることです。多くの県民が実現を望む子どもと障がい者の医療費窓口無料化は、実現を求める請願が、自民・公明・民主・社民・中間会派によって棚上げされています。

2 県民目線でムダづかいをチェック

「危険でムダ」と指摘された浅川ダムを、阿部知事は検証ぬきに建設をすすめています。膨大なお金と自然への負荷をかけるリニア新幹線建設も地域住民の反対世論が急速に高まっています。

3 国にもものを言える人でこそ 暮らしを守れます

いまの福祉の切り捨てと消費税増税の大本が、自民、公明、民主の3党合意です。TPP参加や原発再稼働も推進の立場では、長野県の農業も安全も守れないのではないのでしょうか。

満蒙開拓の引き上げ者です。戦争の恐ろしさ知らない安倍内閣おそろしい。(80代女性)

4 政党助成金、企業団体献金を 拒否している党だから スジを通せます

政党を堕落させる「政党助成金」、政治をゆがめる「企業・団体献金」。きっぱり受け取りを拒否しているのは日本共産党だけです。日本共産党の資金は個人募金など県民に支えられています。だからこそ、「県民の利益第一」を貫けます。

県民世論で廃止になった「海外視察」が復活の動き

県民世論で「ムダ」と廃止が決まった公費での海外視察。ところが今になって「鎖国化してもいいのか」と、復活をめざす動きも出ています。



リニア新幹線問題で現地視察する
県議団(南木曾町)

自民	157億8千万円
民主	66億9千万円
公明	26億円
維新	12億1千万円
社民	4億2千万円
共産	0円



県議会議員

両角友成

もろすみ ともなり

1953年松本市(旧四賀村)生まれ、61歳。四賀村議4期を経て07年松本市議、11年に長野県議選で初当選。現在、危機管理・建設委員。会田中学校PTA会長、松本協立病院理事、中信健康友の会事務局次長など歴任。趣味は登山、詩吟(師範)。家族は妻と子ども3人。松本市殿野入在住。

こどもも両角さんに期待します

元県会議員
藤沢のり子

中信農林センター組合長元松本市議
倉橋芳和

ちここの会スタッフ
太田瑞穂

NPO老人介護施設 睦々舎 看護師
江森けさ子

両角さんは県議会で子ども障がい者医療費の窓口無料化の実現に向けて何度も発言を続けています。また、子どもの医療ケアを考へる会(会員)でもあります。障がいのある人や子どもたちへの支援者として議会に送り出すのは、この人以外にはいません。

国政では、医療に「岩盤規制」というレテルを貼り、混合診療を「患者申出療養」という耳あたりの良い言葉で保険診療を小さくして、医療ビジネスを広げようとしています。辺野古への基地移転固執や翁長知事のかたくな対応、あえて紛争やテロに巻き込まれるリスクを高めるような政策、国レベルでブレーキが効かないこの状況を変えるには、地方の意思表示がこれまで以上に大切だと思います。平和や医療介護の大切さを貫いて訴える両角友成さんに是非ともその役目を担って頂きたいと願っています。

安倍「農政改革」による「農協つがし」攻撃は、強引にTPP交渉をすすめるようとする政府により、「邪魔者はたく」というのが本場の狙いです。農協や農家の皆さんと共同して地域農業を守り、「TPP交渉から今すぐ撤退すべき」の立場でしるることなく、かばってこれる両角友成さんは、農業と地域にとっても、絶対に必要の人です。

両角県議はこの4年間、持ち前の誠実さで県民の切実な要望を県政に届け実現してきました。安倍暴走政治から県民の命と暮らしを守る両角友成さんの議席を、なんとしても守り抜くために全力ががんばります。

あなたのまちから 暴走政治ストップ

日本共産党